

大 です

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、
現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



大学院教育学研究科* 出身
米澤 和洋 さん

株式会社ATHER
代表取締役

* 現 大学院人間社会科学研究科

全ての人の健康づくりを 幅広くサポートしたい

スポーツ選手のトレーニングから一般の方のリハビリのお手伝いまで、さまざまな目的を持った方を対象に、株式会社ATHERでは思い通りに体を動かすことを重視した「コンディショニングジム」を運営しています。私が医療機関に勤務していた1990年代後半の日本では、医療費の高騰に伴い、医療機関でのリハビリ処置が満足にできない状況がありました。会社を設立した背景には、そうした制限にとらわれず、対象者が納得いくまできっちりとケアを施したいという思いがあります。さらに、運動に対するハードルを下げ、楽しく体を動かす方法を知ってもらうのも私たちの使命の一つです。スポーツセンターの運営やイベントの開催などを通じて、地域

の人々の健康づくりを幅広くサポートしています。特に子どもたちに向けたイベントでは、海外の先進的な運動プログラムを取り入れ、体を動かす楽しさだけではなく、考える力や協調性を育むことを目指しています。

大学院での学びを基に 最善のトレーニングを追求

会社を立ち上げた当初、日本卓球協会ナショナルチームのトレーナーとしても活動していた私は、選手のデータをパフォーマンス改善のために生かせないかと考えていました。そこで統計学の知識を求め、広島大学の門戸をたたくことに。何度も通いながら教授の方々にアドバイスをいたいでいました。しかし、徐々に選手の数と解析すべきデータが増えたため、思い切って大学院に入学し、自分自身で研究することを決意。選手のジャンプ力を測定

し、潜在的な「俊敏さ」と「速さ」の能力を予測する研究を行いました。そして5000人ほどのデータを解析し、測定結果と選手のポテンシャルの相関を見いだすことに成功。研究成果を北京オリンピックやロンドンオリンピックに向けたトレーニングに応用し、選手のパフォーマンス向上を支えました。大学院を修了した今も当時学んだ解析の手法を生かしながら、トレーニングの最善な形を追求しています。

広大のここがええね!

あらゆる分野においてレベルの高い研究者の方々が在籍しているのが広島大学の魅力。現在は統計学だけではなく、運動生理学などさまざまな専門分野の先生方にご協力いただいています。